



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

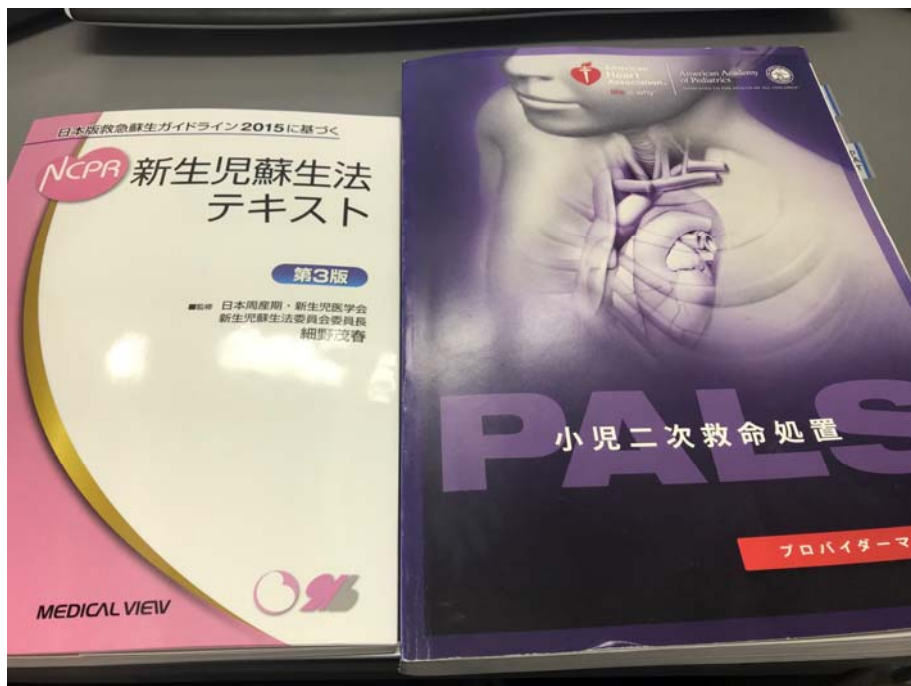
作成者：黒瀧 奎吾（2年次）

黒瀧です。前回、前々回とBBQの話をして、今回もBBQの話をする、「この研修医はちゃんと働いているのか?」「このスペースは趣味のブログじゃないんだぞ!」などといった投書をされかねないと思い、今回はお仕事に関係したことを書きたいと思います。もし、BBQの記事を期待されていた方がいましたら申し訳ありません。

11/23~25の三連休は、3日間弘前に出張に行っていました。初日は小児超音波講習会に参加してきました。超音波は小児においてとても有用な検査であることを再認識してきました。被ばくもなく、解像度もよく、何よりもご両親に実際に一緒に見てもらって納得していただきやすいというのが利点であると思います。一家に一台のように、診察室に一台あって、すぐに超音波が当てられるぐらいに普及してほしいと思っています。

2,3日目は PALS(pediatric advanced life support)という小児救急の勉強会に参加してきました。重症の小児を診察するためのスキルですので、それが役に立つ機会はあまり来てほしくはないですが、備えておくことは大事だと実感しました。

今週末(12/1)は NCPR(neonatal cardio-pulmonary resuscitation)という新生児心肺蘇生法の勉強会に参加する予定です。学ぶべきことが多い毎日ではありますが、残り少ない研修医生活を有意義に過ごせるように頑張っていきたいと思っています。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。